

## 24 高蔵寺木工ワークショップ（その1）

- 【期 日】 令和元年 12 月 21 日（土）  
【会 場】 愛知県春日井市グループふじとう  
【内 容】 以下のとおり

平成 27 年度より交流事業に取り組んでいる春日井市の高蔵寺ニュータウンにある「グループふじとう」の一角をお借りして、冬休みの子供達を対象にした木工ワークショップを開催しました。同施設でのワークショップ開催は、今年の夏以降 3 度目となります。

1 回あたり約 40 分、午前・午後 2 回ずつの計 4 回開催としましたが、最終的には定員 32 名のところ（8 名×4 回）のところ、30 名の方にご参加いただくことができました。主に小学生を対象とした内容でしたが、親・祖父母世代の参加も多くありました。

ワークショップでは、始めに昨年同様、春日井市と木曽地域のつながりについて広域連合職員による講義を行いました。市内高蔵寺ニュータウン地区を中心に、現在では市民のおよそ 7 人に 1 人が愛知用水を通じて木曽川の水を利用していることや、その水が生まれる木曽の森林で行われる間伐の重要性について、スライドを交えてお話ししました。メモを取りながら聴いてくれる子供や、木曽のダムを訪れたこととお話ししてくれる子供もいました。また、間伐が大切なことは知っていたが、森林にどのような効果があるのかようやく理解することができたと、感想をお話しいただいた方もいました。

講義の後は、今回初めて上松町地域おこし協力隊の小林信彦様にご協力いただき「ひのきのボンボン作り」を行いました。材料はヒノキのかんなくず・凧糸・リボンのみで、梱包用ビニールテープで作るボンボン飾りと同じ要領で作っていきます。始めに長く削られたかんなくずを板に軽く巻き、そのまま板から外し、中央を凧糸で結び、蝶ネクタイのような形にします。次に両端の輪になった部分を切断したら、かんなくず 1 枚 1 枚を丁寧に手で割いて細くし、丸く形を整えます。最後にリボンをつけたら完成です。使う道具もハサミ一つだけで、小さな子どもたちでもきれいに作ることができました。時節柄クリスマスツリーの飾りにもぴったりであったほか、中には髪飾りとして頭に着けて帰る子もいました。

☆ 当日の様子



ワークショップ（前半の講義）



ワークショップ（ボンボン作りの様子 1）



ワークショップ（ボンボン作りの様子 2）



ワークショップ（ボンボン作りの様子 3）